広報

ときめき きらめき いきいきを伝える

Seki

2017
12
No.1682

TOPICS

・年末年始業務のご案内…P6
・お知らせ…P16~22
・文化会館／図書館…P23
・しあわせヘルスだより…P24,25

イチから学ぼう LGBT

LGBTとは?

L＝レスビアン、G＝ゲイ、B＝バイセクシュアル、T＝トランスジェンダーの頭文字をとった総称であり、セクシュアル・マイノリティー（性的少数者）を指します。

LGBT以外にも、多様な性のあり方があります。

本特集では、様々な性のカタチを総称してLGBTとしています。

Illustration by Freepik

知ることから
はじめよう

LGBTフレンドリー宣言から1年と4か月…
性別にこだわらず自分らしく
生きられるまちへ

誰もが自分らしく
生きやすいまちを目指して

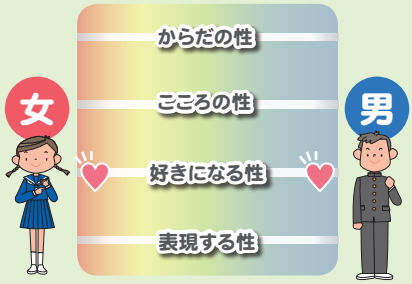
高齢者も、障がい者も、若者も、そして性別にとらわれることなく多様な市民がお互いを尊重し合い、誰もが自分らしく暮らすことができる。認め合い活躍することができる関市でありたいという思いから、「LGBTフレンドリー宣言」を行い取り組みを始めています。

宣言から一年、今まで見えていなかったものが見えてきました。性的少数者であることの偏見や差別を恐れながら生きづらさを感じている人たちの思いに触れ、市内の企業も高校生も動き出しています。LGBTについて少し考えてみませんか。

Bisexual
バイセクシュアル

両性愛者

バイセクシュアル・・・
異性と同性、どちらの性別も好きになる人



Transgender
トランスジェンダー

からだとこころの性が一致しない人

トランスジェンダー(MTF)・・・
MTF(Male to Female)とは、からだの性が男性、こころの性が女性

トランスジェンダー(FTM)・・・
FTM(Female to Male)とは、からだの性が女性、こころの性が男性

(性のあり方)が存在

関市の取り組み

LGBT ハンドブック

中高生向けにわかりやすいハンドブックを作成し、市内中学・高校に配ります。

性別を入れない印鑑証明発行へ

印鑑登録証明書をはじめ様々な書類の不要な性別欄をなくしていきます

みんなのトイレ

気軽に誰でも利用しやすいトイレ表示にしていきます

LGBT パートナーシップ宣誓制度導入へ

同性カップルのパートナー宣誓を証明します

LGBT フレンドリーセミナー

参加無料

まずは知ることからはじめよう・・・
LGBT理解のｾﾐﾅｰを開催します
気軽に会場にお越しください
（事前申込不要）

と　き：12月14日（木）2回（90分）
10:00～／15:00～
ところ：わかくさ・プラザ
総合福祉会館3-1会議室
講　師：市川武史さん
（オンザグラウンドプロジェクト代表）

「性」の4つの要素

からだの性 生物学的性
性染色体、外性器、内性器などから判断されます。

こころの性 性自認
自分の性別をどのように感じるのか。

好きになる性 性的指向
恋愛や性愛の対象となる性別のこと。

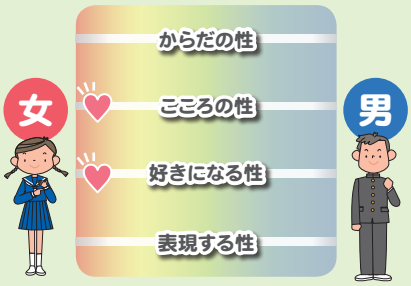
表現する性
ふるまいやみかけのこと。

誰もがそれぞれの性的指向や
性自認を持っており、
それらを考えることはすべての人の
「生きやすさ」につながります

LGBTとは？

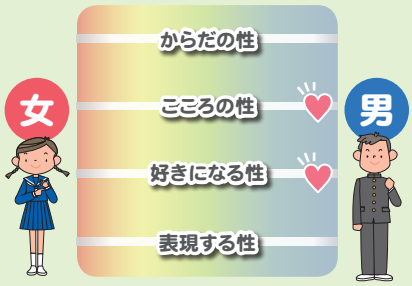
Lesbian レズビアン
女性同性愛者

レズビアン・・・
心の性が女性で、女性を好きになる人



Gay ゲイ
男性同性愛者

ゲイ・・・
心の性が男性で、男性を好きになる人



レズビアン、ゲイは こころの性 で決まります

このほかにも もっと様々な セクシュアリティ

ありのままを受け入れたい

SGH × LGBT

国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を図る文部科学省事業「SGH（スーパーグローバルハイスクール）」指定校である関高校。その活動の中で、LGBTの啓発に取り組む2年3組の7人グループです。生

早川工業　ものづくり × LGBT

中小企業の社長として、障がい者の親として

うちは社員26人の金属加工会社で、これまでは同質性や協調性を求めてきました。でも、金属製造業の基準をもとに「できるヤツとできないヤツ」、それがだんだん嫌になってきたんです。障がい者の親として余計にそう思うようになったのかもしれないけど、ニューヨークに2年間いたのもあって、もともと個人の多様性について思うところはありましたからね。

LGBTの気づき

企業向けLGBTセミナーを受けて講師の市川さんと出会ったのも何かのタイミング。元ひきこもりや自閉症気味の社員も雇用して、その人の特性を見つけてそれを活かす働き方をしてもらっていますし、共感する部分も多かった。

優先して採用するわけじゃない

創造性はものづくりの本質で、多様な人がやると同じものを作ってもわくわくするんですよ。だからといって、LGBT当事者を優先して採用するわけじゃない。ものづくりに向いていれば、採用するというだけ。せっかく採用したなら雰囲気よい方がいいじゃないと思い、社内規則を変えたんです。採用したらボク言いますよ、「LGBTに関係することで何か言われたら、オレが一緒に怒ってやる。ただ、その他の悩みについては自分で考えて乗り越えてくれ」と。「障がい者やLGBT当事者も雇わなくては」なんてのは、多勢のひとりよがりですよ。

多様な感性で会社を変えたい

来春4月から、大学卒の女性2人を採用します。多様性を認める社風に共感してくれましてね。2人には会社の中核を担う人材として期待しています。一人は改善、一人は海外渉外の中心として。いろんな感性で会社が変わってほしいと願っているんですよ。

代表取締役社長
大野雅孝さん

これは自分の使命

「レインボーぎふ」※に10年以上前から関わり、LGBT当事者やそれを取り巻く人たちの思い、苦悩などをたくさん聞いて、肌で感じています。平成27年4月に文部科学省の性的マイノリティに関する通達、平成28年8月に関市の「LGBTフレンドリー宣言」の発表、LGBTという古い考えの田舎の大家族で育ち、その考えがしっかり刷り込まれていました。当事者の皆さんと出会って目からウロコ。「日常にこんなにたくさんいて、みんな悩んでいるんだ」って。社会や学校内でもまだまだ心ない言葉はたくさん聞こえてきます。知り合いの当事者が、医者である両親に自分のことを告白したら「病気だから治してこい」って。ひどいでしょ？

すべての人が自分の個性を活かして　地域で　いきいきと　生きる
すべてを結びつけるものは　みんなの地域愛！

私たちは、ここにいます

レイニー・オーレ

代表 まことさん

多様な性を生きる人の交流の場を市内につくりたいとの強い思いから『レイニー・オーレ』を立ち上げたトランスジェンダーのまことさん。自分の性別に違和感を覚えたのは、小学4年生の時でした。

必ずあなたの側にいるから…

LGBT当事者のカミングアウトは、まだまだしづらいのが現状です。でもあなたの近くにいるということを伝えたい。温かく受け止めてもらえると嬉しいです。「話してくれてありがとう」って。

居場所づくりをしたい

「自己受容できない、将来が見えない」など、誰かに悩みや困りごとを聞いてもらう機会がなかなかありません。だから、誰かに耳を傾けてもらえる場をつくりたいんです。自己表現の場にもしたいですね。

小・中・高校生・大学生のために

子どもたちには、信頼できる大人に認められ、安心できる場所が必要だと思います。自信を持って自分らしく生きるきっかけづくりもしたいんですよ。

第1回『レイニー・オーレ』交流会

月に1回、そこに行けば仲間がいる、LGBTに関係ある話からない話まで、楽しくお話できるといいねという会を開催していきます。
「同性の子が好きかもしれない」「自分の性別に違和感がある」…そんな悩みを持っているあなた、気軽に集まって私たちとおしゃべりしませんか？

- **と　き**：12月17日(日)15:00～16:00
- **ところ**：わかくさ・プラザ　学習情報館2-1研修室
- **お問い合わせ**：
  メール：rainy.ole2416@gmail.com
  ツイッター：@rainy_ole
  LINE@：@rms0691j

事前に申し込みがなくてもご参加できます

関高校2年3組

徒全員にLGBTについて正しい知識を持ってもらおうと取り組んでいます。関連本を各自がしっかり読み込むことから始め、校内アンケート、LGBT当事者とのワークショップへの参加など、生徒や当事者たちの声を聞き分析なども試みます。校内にある図書館にLGBTブースを設けたり、玄関やトイレなどに象徴である6色のレインボーフラッグを飾ることも考えています。

下有知中学校 性教育 × LGBT

に関する知識や理解を子どもたちに伝え広めていくことが、自分の使命だと強く感じました。

子どもたちにLGBT紙芝居

自分の性に違和感を持ち始めるのは中学生、高校生が多く、その世代にしっかりした知識を伝え、学校の雰囲気をよくすることが最重要だと思います。

昨年、1年生と2年生を対象に「レインボーぎふ」が作成したLGBTに関する紙芝居をしました。紙芝居という手法も現代っ子には新鮮だったようで、話すとすんなり受け入れる生徒が大半。「LGBTフレンドリー宣言をした関市を誇りに思う」という生徒もいて本当に感動しました。

自分も偏見のかたまりだった

もともと「女のくせに・・・女なんだから・・・」

生徒の心のよりどころとして

子どもたちを見守る教員側もしっかり知識を持ち変わる必要があると思います。訳が分からずもがいている生徒もいるので、その子たちの心のよりどころになれれば嬉しいし、思い切って駆け込んできてほしいですね。

※「レインボーぎふ」は、岐阜県"人間と性"教育研究協議会のメンバーによって運営されています。

養護教諭
塚原百合香さん

異なる視点、経験やアイデアなどが刺激し合い
相乗効果によって創造性あふれるまちは生まれる